

平成29年度

兵庫まなべ会総会は

第一部 総会

第二部 懇親会

第三部 歴史探訪

を実施した。

第一部 総会

平成28年11月23日、(水曜日、

勤劳感謝の日)の午前11時

0分、兵庫まなべ会

会員の15名が

神戸市須磨区東須磨一

神戸市立須磨離宮公園内の

「レストハウス離宮」前に三々

五々集合し、同「レストハウス離

宮」の貴賓室において、第一部



の総会が栄三会長の司会により開催された。

◎右写真は、出席者の15名です。

平成29年度兵庫まなべ会総会

(平成28年11月23日 神戸市立須磨離宮公園に於いて)

第一部 総会

会

総会開始の冒頭、

全国まなべ会、兵庫

まなべ会において、

ご活躍された三名

の会員がご逝去さ

れました。

平成27年12月1

日

特別顧問 真鍋富

夫

平成28年4月4

日

評議員 真鍋勇

平成28年6月21

日

評議員 真鍋よりあ

右へ逝去された

会員の「ご冥福を

祈り、黙とうを

ささげ、今まで

の感謝を申し上げます。

げました。

一 平成28年度事業報告

(一) 会報誌の発行

平成28年4月1日付けの

「兵庫まなべ会だより」

第9号を発行し、全会員48名

宛てに郵送した。

(二) 第36回全国まなべ会総の

「大阪大会」に参加しました。

平成28年5月22日

(日曜)から23日(月曜)

の間、大阪府箕面市の

箕面観光ホテルにおいて、

「大阪大会」が開催された。

全国からの参加者は、110名

に及び、当兵庫まなべ会から

の参加者は、壽様ご夫妻

・ 栄三様ご夫妻・ 朝恵様

・ 成之様・ 末廣様・ 正昭様

・ 公一様・ 誠次夫妻の

11名で懇親を深めました。

(三) 役員会の開催

平成28年9月26日

14:00～17:00の間、兵庫県立

加古川総合庁舎において、

会計監査等の役員会を

次の4名で開催した。

(・栄三会長・元保副会長

・正昭会計・事務局誠次)

(四) 平成28年度会計報告と

監査結果報告

①兵庫まなべ会の会計年度

は、平成28年10月1

日に始まり、平成29年

9月30日が年度末とな

ります。

②平成28年9月26日

兵庫県立加古川総合庁舎

において、栄三会長による

会計監査が実施され、適正

と認められた。

③平成29年11月23日

開催された総会に於いて、

次の平成28年度、兵庫

まなべ会一般会計報告と

兵庫まなべ会真鍋家及び

切山探訪会計報告が議案

提出され、本総会におい

て承認された。

単位:名

役員別会員数 (平成29年4月1日現在)

顧問	顧問	理事	評議員	小計	一般会員	合計	備考
0		1	2	3	2	5	
0	2	1	1	4	5	9	含む三田・宝塚市
0		1	4	5	6	11	
0	1	2	5	8	7	15	含む西脇市
0	3	5	12	20	20	40	

(五) 兵庫まなべ会にも深ま

る高齢化と会員の減少。

現在の兵庫まなべ会は、

会員の高齢化が深まり、

会員の減少も続いています。

上段の兵庫まなべ会

役員別会員数表が示す

とおり、全会員数40名

の内訳は

・ 全国役員20名

・ 一般会員20名

であります。

したがって、現在も全会

員が、皆一丸となって運

営していますが、これか

らもなお一層の努力で

「魅力ある兵庫まなべ

会

に発展させようではあり

ませんか。

高齢化から脱皮するに

は、会員(まなべ性)もし

くは関係者)の一人ひと

りと、一年に一度お会い

してでも気軽に語りあう

ことで、古くは論語にあ

るように「温故知新」と

なりうるものと思ってい

ます。

このことについて、本

「兵庫まなべ会だより」

巻頭の栄三会長ごあい

さつの文中に

「このように先が見えず

らい世の中だからこそ

――― 生き抜く方途を

―――

と思う次第であります。」

と言っておられるように

過去の歴史を紐解いて、

現在、未来の対策を講ず

る。これぞまさしく、「兵

庫まなべ会」が目指す「歴

史探訪」の故であり、また

「温故知新」であります。

まずは、よく歩いて健康を維持し、元気に頑張ろうではありませんか。

第二部 懇親会

総会に引き続き、懇親会

神戸市立須磨離宮公園

「レストハウス離宮」

において、昼食の会食を伴う懇親会となりました。

先ほどの総会でご紹介しました新しい入会者潤也様と御母さまの眞里様が加わったの楽しい懇親会となりました。

第三部 歴史探訪

一 須磨離宮について

本日の総会で、一番大切な「歴史探訪」の時間がやってきました。

この広大な公園に噴水と



【兵庫まなべ会 歴史探訪 15名のまなべさん】

(平成28年11月23日神戸市立須磨離宮公園於いて)

バラ園があり、ヨーロッパ調の公園を思い起こすかと思えば、公園の奥に日本庭園があり、高台では古来から月見がおこなわれています。それでは、公園を散策して、目的地の須磨寺まで行きましょう。

(写真中、後方の白い建物が、本日の総会、懇親会の場所となりました「レストハウス離宮」です)

(1) 須磨離宮公園の前身である「武庫離宮」は天皇陛下の「宿泊を主目的に

1908年(明治41年)設置決定した。

(2) 1914年(大正3年)に「武庫離宮」が完成し、

2014年12月に造営から100年を迎えた。

(3) 1945(昭和20年)の神戸空襲で焼失するまでの

やく30年間、大正、昭和の

天皇陛下が利用された。

(4) 昭和20年戦災により離宮御殿は焼失。神戸市に

下賜される。

(5) 昭和42年、今上天皇(当時皇太子)

ご成婚記念事業として須磨離宮公園が完成。

(6) 昭和54年 植物園が完成。

(7) 昭和58年

こどもの森

(8) 平成元年 冒険course完成。

「日本の都市公園100選」に選定されている。

(9) 平成20年 日経「おすすめ月見スポットベスト10」

に選定される。

須磨観光協会発行の「須磨歴史紀行」

から現場説明と掲載に活用。

須磨離宮公園から下り坂の住宅街を歩いて約10分のと

ころに、古くから「須磨寺」の通称でひたしまれてきた

寺に着きました。

寺の正式な号は「上野山福祥寺」です。それでは、

兵庫まなべ会会員15名で歴史探訪が始まります。

題して

二 源平合戦と須磨寺

です。

(1) 「こゝ須磨寺には、

平敦盛遺愛の「青葉の笛」や
弁慶の鐘、さらに敦盛の首
塚や義経腰掛の松など、多
数の重宝や史跡があり、源
平ゆかりの寺として知られ
ている。

(2) 源平の庭(写真の通り)
源平一ノ谷の合戦で、

平敦盛と熊谷直実の一騎
打ちの場面を再現した庭
が境内に設けられている。



・ 直実に敗れた敦盛の話
は、平家物語の「敦盛最
期」の中で最も悲しく涙
を誘う物語として知ら
れています。



(右写真は「平敦盛最期」の場面)

(3) 青葉の笛

源平一ノ谷の合戦で、
熊谷直実に討たれた平
敦盛が肌身に付けていた
愛用の笛(古来より須
磨寺の代表的な宝物と
して知られている)

(4) 「當山歴代」

須磨寺の記録によると
江戸時代の天生16年
(1588)には、諸国から
「青葉の笛」を見に来る人
が増え、行列ができたので
拝見料「御笛見銭」を徴する
ようになったと「當山歴代」
に記録されている。

(5) 須磨寺の句碑、歌碑等

須磨寺境内には、一ノ谷
の合戦にて、わずか16歳で

討たれた若武者平敦盛を忍んで詠んだ芭蕉の



須磨寺や

吹かぬ笛聞く

木下闇

の句碑のほか

・ 与謝野蕪村

・ 正岡子規

ら多くの文人の句碑があ
る。

(6) 真鍋豊平の歌碑

ひとすじに

心こめたる

ことなれば

ちよのしらべも

たえじとぞおもふ

卒寿豊平

① 文化6年(1809)から

明治(1899) 91歳

② 一絃琴家元、歌人

現在の四国中央市土居町

出身、千足神社の神官の

長男として生まれる。

③ 一絃琴(須磨琴)の家元

歌人です。

大きな石のように、重み

のある短歌に出会い歌人

に感謝したいと思います。

このように、須磨寺境内

の文学歴史散歩も楽しむ

ことができます。

本日の歴史探訪は、これにて

終了します。

ありがとうございました

終わり

兵庫まなべ会事務局

真鍋誠次